

第73回四国地区大学総合体育大会 準硬式野球 新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン

スポーツ庁新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインに準拠するものである。

総合

役員、学生役員（各チーム主将、主務）において運営を行う。各球場、主管チームをチーフとし、参加他チームの学生役員と協力をして対応する。

大会前

- ① 選手は、日頃から感染症対策をしておく。大会7日前から「健康チェックシート」と「行動履歴簿（個人別）」を記録する。

大会中

- ① 【7/1】「健康チェックシート」と「行動履歴簿（個人別）」を本部に提出する。
- ② 【7/1・7/2・7/3】試合当日の朝も、「当日検温確認表」を本部まで提出する。（37.5℃以上の場合に入場できません。）
- ③ 球場に到着次第、消毒・検温をしてから球場に入る。
- ④ 万が一、感染者が発生した場合は、速やかに関係機関（大学）に一報を入れ、（新型コロナウイルス感染者等の対応方針）の通り対処する。
- ① 密になりがちな本部記録室、審判控室への不必要な出入りを禁止する。

球場内

- ① 移動時においてはマスクの着用を義務付けるが、球場内では選手のマスク着用は義務付けない。役員、本部記録室、審判控室についてはマスクを着用する。
- ② スタンドでは2m（左右3席、前後1列）の間隔をあける。なお試合観戦中のメガホンの使用や大声をあげての応援、太鼓を用いた応援はしない。
- ③ ウォーミングアップ（ストレッチも含む）は屋外に出て行う。素振りについても周囲の状況を十分に確認して行う。球場内の使用はブルペンのみとする。

試合中・前後

- ① 試合前後の挨拶は片手分の間隔を取り整列する。
- ② 飲水時には共用のコップは避け、個人のコップ・ペットボトル等を用いるようにする。日頃の練習時から習慣付けておく。（審判への飲水提供についても同様）
- ③ バットやヘルメット、捕手防具など共用している用具は、その都度消毒をする。（各チームで）
- ④ 試合前、試合後は各チームでグラウンド整備を行うと共に、1塁側、3塁側各チームベンチ、ドアノブ、水道栓等の消毒作業を行う。各チームでゴム手袋、キッチンペーパー、アルコール除菌シートと雑巾等の準備をしておく。（使用した手袋、雑巾等は使い回しをせずビニール袋に詰めて処分する）

- ⑤ スタンド観客席も使用後は消毒を行う。各チームでアルコール除菌シートを用意しておく。来場者にも同様の作業をお願いします。
- ⑥ 本部記録室・審判控室についても、グラウンド・1, 3 塁側ベンチ同様に試合前、試合後消毒をするとともに、試合中は3密を避けるため、役員、本部記録員、控え審判間2mの間隔を取る。勿論、マスク着用のこと。
- ⑦ 本部記録室・審判控室については、入外出ドアを開き、ガラス窓を開いて風通しを良くして、感染症予防に努める。

来場者

- ① 入口で検温および「来場者名簿」を記入した後、入場をお願いします。(37.5°C以上の方の入場はできません。)また、マスク着用、手指消毒もお願いします。
- ② 観客席が「密」にならないよう間隔を空けて座る。
- ③ 試合観戦中のメガホンの使用や大声をあげての応援、太鼓を用いた応援はご遠慮いただく。
- ④ ゴミは各自で持ち帰る。

大会後

大会終了後、2週間以内までの期間において新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、担当大学（徳島文理大学 学生支援課）まで必ず報告する。